

【魅力その5】 夢のある未来像

大規模再開発による新名所が続々誕生



2008年9月のリーマンショック以降、歴史的な不況の影響で人口流出が深刻化する地方とは対照的に、**東京**は年数万人規模の大幅な人口増加が続いています。その大きな原因は、**大規模再開発**です。再開発にともなって**東京**はますます進化を遂げ、外資系企業の進出や地方企業の移転により、地球規模の変動が**東京**への一極集中を引き起こしています。**世界中のヒト・カネ・モノが集中する都市、東京**。首都圏で進む再開発プロジェクトは、現在100を超えます。その中でも**東京**は、情報・文化を集積し、環境に配慮した街作りで、世界でも注目を浴びる**超効率都市**へと成長しつつあります。



①東京都墨田区



「画像提供=オリックス不動産/(仮称)墨田水族館 イメージ図」



「画像提供=オリックス不動産/(仮称)墨田水族館 イメージ図」



①東京都墨田区

2012年春に、**下町墨田**に世界的な高層タワーが誕生します。その名は「**東京スカイツリー**」。新タワー「東京スカイツリー」の高さは**634m**。現東京タワー(333m)の約2倍の高さです。完成すれば、**自立式電波塔として世界一**、もちろん日本で最も高い建造物となります。

主体の放送施設以外には、展望台やレストラン、カフェ、ショップが展開し、350m地点からの眺望とともに食事や買い物を楽しむことができます。展望台からは、天候が良ければ約75km先まで見渡すことができる計算となります。これは、房総半島の先までの景色が楽しめる距離だそうです。

東京スカイツリーの足元には、押上駅と業平橋駅をつなぐ広さ約3.68ヘクタールにおよぶ街が生まれます。この複合施設には水族館とドームシアターが開設され、上質なエンターテイメント空間が繰り広げられる予定です。押上駅は、東武伊勢崎線・東京メトロ半蔵門線・京成押上線・都営地下鉄浅草線が乗り入れるターミナル駅です。さらに、羽田空港と成田空港の空の交通を結ぶ絶好のアクセスポイントとなっており、**世界中の観光客が訪れる国際的な観光拠点**となることが期待されています。

同エリアでは、最先端の再開発が進む一方で、**江戸時代からの下町情緒あふれる街並み**も大切に残っています。春には、「**墨堤さくらまつり**」が開催され、多くの模擬店や向島芸者による芸妓茶屋が展開され、隅田川両岸は桜一色の見事な景観となります。夏には、下町の風物詩「**隅田川花火大会**」が行われ、約2万発の花火が見物客を楽しませます。

世界一のタワーを中心とした最新鋭のスポットと、隅田川を中心とした下町情緒あふれる江戸時代からの伝統が融合し、**活力と伝統がみなぎる新名所**として、**墨田エリア**が生まれ変わります。



②丸の内（東京都千代田区）



②丸の内（東京都千代田区）

千代田区丸の内は、三菱地所が中心となって再開発を進める超インテリジェントビルエリアです。この丸の内エリアには、近年、外資系企業が続々と集結し、1.2平方キロメートル以内に超一流外資系企業76社がひしめき合っています。丸の内はいまや、**世界中のエリートが集まる多国籍ビジネス街**となっています。

多国籍ビジネス街にふさわしい、最新鋭の高層ビル建設も相次いでいます。東京八重洲口にそびえる**ツインタワー（グラントウキョウサウスタワーとノースタワー）**が2007年10月に完成しました。続いてガラスに覆われたサウスタワーとノースタワーをつなぐ歩行者デッキ「**グランルーフ**」が、2013年に完成予定です。グランルーフは、地上4階地下3階で店舗や緑が配置されます。人々の憩いの場として、新しい八重洲口の顔となります。

最新鋭の建造物が開発される一方で、歴史的な建造物を復活させようとするプロジェクトも進行しています。国の重要文化財に指定されている**東京駅丸の内駅舎**は、2007年5月から復元工事が開始され、大正時代の赤レンガ姿によみがえります。完成は2011年度末で、東京大空襲で焼失した部分も創建当時に復元される予定です。

1931（昭和6）年に竣工した**東京中央郵便局**にも建替え計画が挙がっています。詳細は未定ですが、2011（平成23）年竣工を目標に、地上37階地下4階の高層ビルとなる構想が出ているそうです。現建築物が、世界的建築家アントニン・レイモンドやブルーノ・タウトにも絶賛されたモダニズム建築の傑作として知られているだけに、今後の動向が気になるところです。



③新宿駅（東京都新宿区）



③新宿駅（東京都新宿区）

東京23区内でも一、二を争うほどの混雑振りを見せる新宿駅南口地区。新宿駅は1日の乗降者数が約350万人と全国1位を誇り、南口だけでも約43万人の利用者がいます。この新宿南口周辺の歩行者の利便性と、甲州街道の渋滞緩和を目指す事業として、基盤整備事業が進められています。この歩行者・バス・タクシー・一般車といった各種交通が集結する高機能ターミナルは、2015年完成予定です。

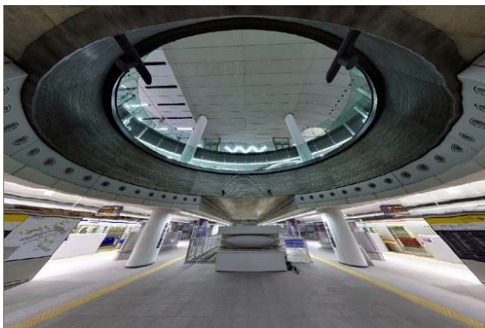
一方、新宿駅西口には、2008年10月に新しいシンボルが誕生しました。繭の形をした東京モード学園コクーンタワーです。そのユニークな概観が人々の目を引くようで、珍しがってカメラ撮影をする外国人観光客の姿をよく目にします。コクーンタワーは地上50階、地下4階、最高部分の高さが203mにもなる超高層ビルで、学校法人としては日本一高いビルとなるそうです。

都庁前の超高層ビル群に匹敵する大規模複合開発も進められています。西新宿3丁目には、2012年竣工を目指し、4棟の超高層ビルが建設される予定です。国際的な文化・交流拠点としての街づくりをコンセプトに、計画では日本一の高さのオフィスビルとなる話もあります。

新宿は高層ビルに勤務するビジネスマンのターミナル駅として機能する一方で、京王百貨店や高島屋などへのデパート巡りを楽しむミセスや、ヨドバシカメラやビッグカメラなどで安い家電製品を買い求める外国人観光客、丸井やルミネで買い物をする若者、サークルの飲み会に集まる学生といった、老若男女が集まるオールラウンドな巨大ターミナルとして、これからも発展し続けます。



④渋谷駅（東京都渋谷区）



④渋谷駅（東京都渋谷区）

若者の街**渋谷**が生まれ変わります。2008年の東京メトロ副都心線開通にあわせ、**新渋谷駅**が誕生しました。新駅のデザインは、建築家の安藤忠雄氏によるもので、全長約80m幅約24m、「地中の宇宙船＝地宙船」をイメージした、ユニークなカプセル型構造となっています。下層部のホーム頭上は巨大な吹き抜け空間となり、上層部から下層部を見渡すことができます。この巨大な吹き抜け構造は、「天然ダクト」の役割を果たすことで自然換気ができ、年間約1,000トンの二酸化炭素排出量削減を実現する、**世界でも類を見ない巨大エコステーション**となっています。

東急文化会館跡地には、**新しい文化発信基地**が誕生します。2012年春に完成予定の地上34階地下4階の高層ビル内には、ミュージカル劇場やエキシビジョンホール、アカデミーなどの文化施設のほか、商業施設やオフィスなどが入る予定です。坂状の地形を活かし、明治通り、国道246号などの周辺道路に通じる「あばら骨」状の通路が整備され、地域との回遊性を考慮した設計となっています。ミュージカル劇場は、最大約2千人を収容する**国内最大規模の巨大施設**で、国内外からのブロードウェイミュージカルなどが誘致される予定です。アカデミーでは市民向けにワークショップなどが開催され、周辺文化施設やアーティスト、クリエイターとの交流の場としても利用されるそうです。

そのほか、**渋谷駅**周辺整備事業として、バリアフリーの歩行者スペースが確保され、明治通りや国道246号など交通量の多い道路から歩行者を守り、歩きやすい街へと進化しつつあります。ますます**にぎやかで活気あふれる**街へと成長する渋谷駅周辺にも注目です。

⑤品川駅（東京都品川区）



品川駅は、日本一のターミナル駅です。京浜急行線で羽田空港まで15分、東海道新幹線で名古屋まで約1時間30分、新大阪まで約2時間30分という**抜群のアクセスの良さ**ゆえに、単身赴任のビジネスマンの住まいとしても古くから人気のエリアです。

その**品川**が、東京の玄関口として新たな進化を遂げつつあります。東京都は、新幹線や空港へのアクセスのよさを踏まえ、**品川駅**周辺エリアで東京の**国際化拠点**としてのまちづくり計画を進めています。

まず「環境モデル都市づくり」として、**芝浦運河**を利用した水辺空間の形成や、東京湾からの海風を都市部までさえぎらないようにする「**風の道**」の確保を進めています。

その他、交通基盤整備や国際ビジネスサポート施設の充実、運河の賑わいの演出等、**世界各国から人々が集まる街**にする取り組みが行われています。今後もダイナミックな進化が続く**品川**から、まだまだ目が離せません。

⑥羽田空港（東京都大田区）



2009年現在		2010年10月より	
離発着回数	現在 約30万3千回／年	→	約40万7千回／年(34%増)
国際線の便数	約9千回	→	約5.1万回(5倍超)
	約830回／日	→	約1,115回／日
旅客数	約6,670万人	→	約8,700万人(30%増)
世界の空港別旅客数順位	第4位	→	第2位



2010年10月、**羽田空港**に新滑走路『**D滑走路**』が誕生します。D滑走路完成後は国際線だけで実に5倍以上の**年間5万1千回**に増やすそうです。国土交通省の試算では、国際線を年間3万回導入した際に東京に**1兆689億円**の生産額増加と**75,125人**の雇用増加があると予想しています。今回、国際線は5万1千回の増加という事ですので、更なる経済効果が期待できます。

周辺の大田・品川・川崎・横浜エリアでは、**羽田空港**の再拡張との相乗効果を狙った開発計画が次々と進んでいます。**羽田空港**周辺エリアは、人気スポットへと成長することでしょう。

東京の未来

「10年後の東京」への実行プログラム2010 施策構成

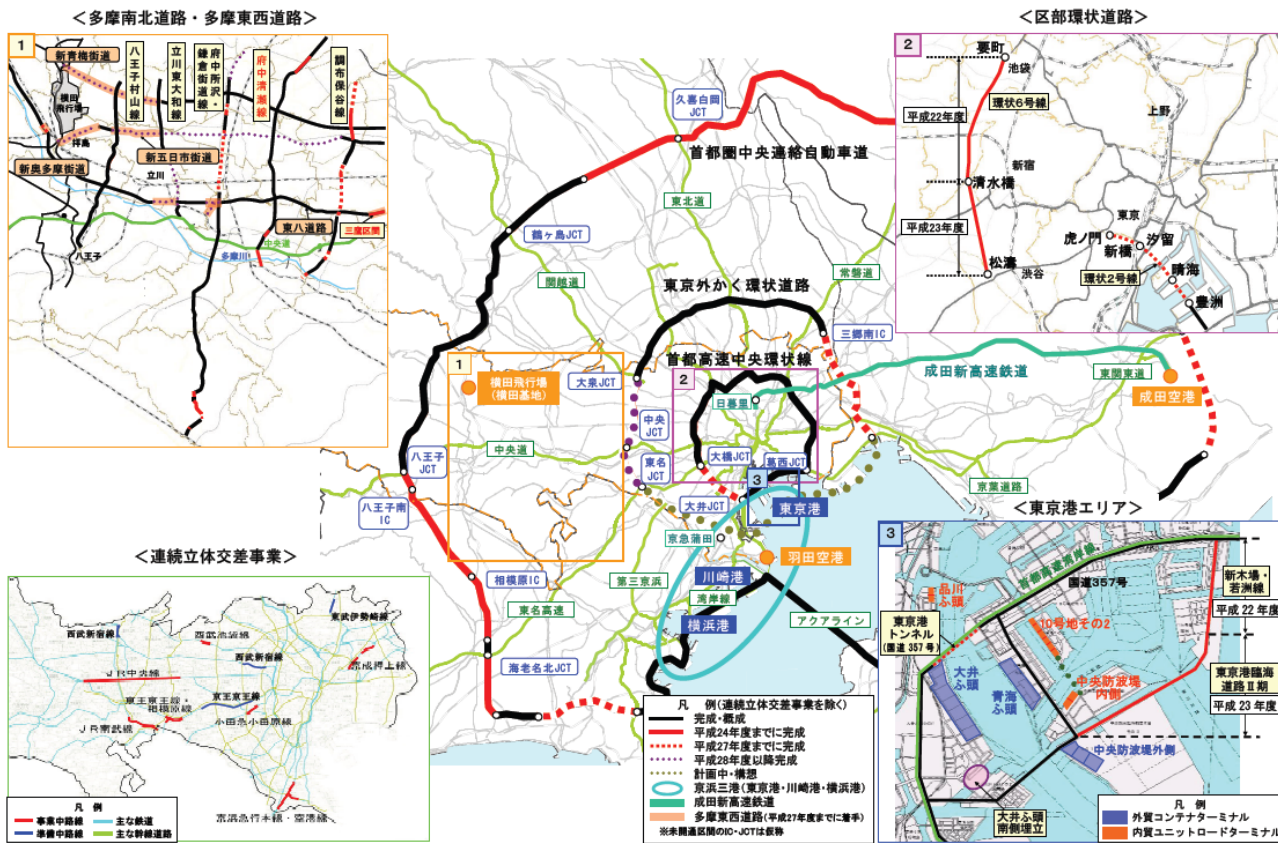
	ページ		ページ
目標1 水と緑の回廊で包まれた、美しいまち東京を復活させる		目標5 安心できる少子高齢社会の都市モデルを創造する	
1 緑あふれる東京を次世代へ継承	6	13 高齢者の安心した暮らしを地域全体で支援	34
(補足資料) 水と緑の回廊の形成	8	14 地域における障害者の自立生活を支援	36
～グリーンロード・ネットワークの充実と貴重な緑の保全～		15 子供を産み育てる家族を社会全体で支援し、少子化を打破	38
2 親水性豊かな東京湾の再生	10	16 365日24時間安心できる医療システムの構築	40
3 東京らしい美しい都市景観の創出	12	17 犯罪から都民を守り、消費生活の安全・安心を実現	42
目標2 三環状道路により東京が生まれ変わる		目標6 都市の魅力や産業力で東京のプレゼンスを確立する	
4 世界が近づく空港・港湾機能の強化	14	18 東京の魅力・東京の文化を世界に発信	44
5 安全で快適な道路交通ネットワークの実現	16	19 隅田川から始まる「水の都」東京の再生	46
(補足資料) 交通・物流機能を高める首都圏ネットワーク	18	20 ユニバーサルデザインのまちづくり	48
6 社会資本ストックの有効活用	20	(補足資料) 「誰にもやさしいまちづくり」の実施地区	50
目標3 世界で最も環境負荷の少ない都市を実現する		21 首都東京の発展を支える産業力の強化	52
7 世界最先端の低炭素都市東京の構築へ向けた挑戦	22	目標7 意欲ある誰もがチャレンジできる社会を創出する	
8 東京から新しい低炭素型ライフスタイルを発信	24	22 子供の学力と社会性を育み、次代を担う若者を輩出	54
9 世界に誇るクリーンな都市環境の実現	26	23 意欲ある人材への就業支援と安定した生活の実現	56
目標4 災害に強い都市をつくり、首都東京の信用を高める		24 東京の産業人材とアジアの将来を担う人材の育成	58
10 耐震化の促進による安全な首都づくり	28	目標8 スポーツを通じて次代を担う子供たちに夢を与える	
11 気候変動がもたらす影響への対応	30	25 誰もが気軽に楽しめる生涯を通じたスポーツの振興	60
12 いつ起きるかもしれない危機への備え	32	26 世界とつながる「スポーツ都市東京」の実現	62
		(補足資料) 東京国体の競技種目と会場予定地	64

※東京都「『10年後の東京』への実行プログラム2010」より抜粋



東京の未来

交通・物流機能を高める首都圏ネットワーク



※東京都「『10年後の東京』への実行プログラム2010」より抜粋

10年後の東京は、どのような街になっているのでしょうか。東京都が平成22年1月に発表した、「『10年後の東京』への実行プログラム2010」の主な内容をご紹介します。

【目標1】水と緑の回廊で包まれた、美しいまち東京を復活させる

【目標2】三環状道路により東京が生まれ変わる

【目標3】世界で最も環境負荷の少ない都市を実現する

【目標4】災害に強い都市をつくり、首都東京の信用を高める

これらの目標実現に向けて具体的な計画が立てられ、既に実行に移されています。



東京の未来

東京は、緑あふれる魅力的な街へと進化します。美しい街路樹が現在の54万本から、約2倍の100万本へと倍増しています。新たに生み出される緑の面積は1500ha(サッカー場1,500面)相当となります。公園と道の緑の連携による「グリーンロード・ネットワーク」の充実により、歩いて楽しい緑の空間が創出されます。

一方、三環状道路、区部環状道路、多摩南北道路、鉄道の連続立体交差事業の整備がほぼ完了し渋滞問題が解消されています。また、空港アクセス向上の一環として日暮里駅改良(平成21年度)、成田新高速鉄道の開業(平成22年度)、京急蒲田駅の改良(平成24年度)が実施されています。羽田空港の国際化や横田基地の軍民共用化により、多摩地域が首都圏の中核拠点として発展します。

そして、4万件の太陽エネルギー利用機器導入を中心に、低炭素型都市の実現に向けた取り組みを世界に先駆けて行います。気候変動がもたらす水害や土砂災害、感染症等の健康問題にもいち早く対応し、未然に防止します。

また、都内の小中学校は100%耐震化され、子供たちの安全が守られるとともに、震災時には救護所や被災者の一時受け入れ施設として機能します。都内の住宅の90%以上は耐震化され、安心して安全な住まいが整備されます。さらに、全国一の医療資源を活かした365日24時間の最先端医療システムを完備します。

上記は、東京都が手がける政策の一部です。世界中のヒト・カネ・モノを吸収して進化を遂げ続ける東京の成長は、留まることを知りません。東京という街が、私たちがより快適で安心して暮らせる成熟都市へと成長することを願ってやみません。

